



アフリカ開発会議に参加しました!



AU友好議連の牧原事務局長、鈴木前外務副大臣とTICAD8メイン会場にて

皆さまお元気ですか。

この夏、日本・アフリカ連合(AU)友好議員連盟の一員として、チュニジアの首都チュニスで行われたアフリカ開発会議(TICAD)に参加してまいりました。

アフリカ開発会議(TICAD)とは

アフリカ開発会議とは、アフリカ地域の開発をテーマとする日本政府主導の会議で、日本とアフリカがともに成長していくための援助や投資について話し合うものです。2019年には横浜で開催されました。

アフリカは人口や面積、高い経済成長率、豊富な資源と有望な市場があることから、21世紀半ばにかけて世界経済の中心地になるであろう「成長大陸」と言われていますが、一方で、貧困、テロ、政情不安などの課題もあります。私はこれまでのアフリカ大陸訪問を通じて、アフリカの人々が持つエネルギーこそが成長のカギであると感じています(古川なおきレポート133号「ベナン共和国訪問」参照)。

■ アフリカ大陸

人口：約13億人(世界の17%→2050年には2億人と予測)
面積：3000万km²(世界の22%)
経済成長率：2000年～2016年の平均は4.8%



アヒム・シュタイナー国連開発計画・UNDP総裁(中央)と



会場前

アフリカ投資の意義

今回のアフリカ開発会議で、政府は、「人」に注目した日本らしいアプローチの下、アフリカ諸国の「人への投資」「成長の質」を重視し、3年間で官民合わせて総額300億ドル規模の資金を投入すると発表しました。このような国際的開発についての報道では、どうしてもその金額が一人歩きしてしまいがちですが、これはあくまでも投資であって、我が国としては当然そのメリットを考えています。開発を日本主導で行う場合、その事業には日本の企業や団体が何らかの形で関わり、その利益は賃金や成果物として日本に廻ってきます。さらにその事業によって雇用や技術がもたらされ、アフリカ諸国が健全に発展することは、*自由で開かれたインド太平洋の実現に大きく貢献し、我が国を取り巻く関係諸国との環境も改善させていくことになります。

日本は、欧米や中国と比べるとアフリカへの進出企業が少ないのが現状です。アフリカ開発会議を通じて、アフリカ各国との友好を深め、投資を増やし、スタートアップなど新たなビジネスモデルの展開や事業領域の拡大にも繋がればと思いました。

※「自由で開かれたインド太平洋」

国際社会の安定と繁栄の鍵を握るのは、
「2つの大陸」：成長著しい「アジア」と潜在力溢れる「アフリカ」
「2つの大洋」：自由で開かれた「太平洋」と「インド洋」の
交わりにより生まれるダイナミズム

これらを一体として捉えることで、新たな日本外交の地平を切り拓く



ケニア共和国と会議



2025年TICAD9横浜招致活動中の横浜市議員とコートジボワール首相

日本らしいアプローチ

「『人』に注目したアプローチ」という言葉はまさに我が国が長年取り組むアフリカ開発支援を象徴しています。ガーナの野口記念医学研究所先端感染症研究センター(野口研)では、設立以来40年間、西アフリカ地域の感染症との戦いに数多くの人材を輩出しました。ただ投資をして終わりにするのではなく、現地で腰を据えて人材を育成し、地元の人々による課題解決を目指す日本の姿勢は、アフリカ諸国からも高く評価されています。

アフリカの人々、その一人ひとりが日本との絆を感じることは、お金には替えられない価値があります。「『人』に注目したアプローチ」は日本・アフリカ両者にとって実り多いものと考えます。

今回、国際会議に参加して、世界の中の日本や日本人としてどうあるべきかなども考えることができ、良い経験となりました。アフリカといえば自然や野生動物の印象が強い人もいらっしゃると思いますが、国際会議が開かれたチュニスの会議場はパシフィコ横浜さながらで、街の市場は活気に溢れ、スマートフォンも難なく使えてアフリカの成長を実感しました。

さらなるアフリカの平和と発展を願うとともに、今なお続くウクライナ戦争の終結を心から祈りたいと思います。今号も最後までお読みいただき、ありがとうございました。皆様のご意見をお待ちしています。

衆議院議員 

古川なおきプロフィール

- ・1968年8月31日「野菜の日」生まれ
- ・希望ヶ丘高校、明治大学政治経済学部卒業、明治大学公共政策大学院修了
- ・横浜銀行、議員秘書を経て旭区より1995年横浜市議員26歳最年少当選
- ・自民党横浜市議団団長、政務調査会長を歴任
- ・2021年4月 自民党衆議院神奈川6区支部長に就任
- ・2021年10月 第49回衆議院議員総選挙神奈川6区(保土ヶ谷区・旭区)にて92,405票で当選
- ・希望ヶ丘高校同窓会「桜蔭会」理事
- ・旭区サッカー協会 顧問
- ・自民党 国会対策委員会
- ・衆議院 総務委員会、文部科学委員会
- ・2018年横浜マラソン完走(5時間8分)



TICADの会場



市場

〒241-0825 横浜市旭区中希望が丘199-1
TEL : 045-391-4000
FAX : 045-366-9700
E-mail : jm@furukawa2002.com



ホームページ



古川なおき事務所 秘書コラム



皆様はじめまして!

古川なおき事務所にて秘書となりました、増永 純女(ますなが あやこ)と申します。1989年7月20日に聖マリアンナ病院で生まれ、横浜市旭区で育ちました。小さいころから住み慣れた希望が丘は私のふるさとです。

大学では主に表現教育を専攻していました。新卒でリクルートに入社し、会社員として働いていましたが、教育への想いが捨てきれず、Teach For JAPANというNPOから小学校の講師として学校に派遣されました。クラス担任を任せられ、大変な中にもやりがいも多く、子どもたちと過ごした経験はかけがえのないものとなり、同時に私の働く原点となりました。子どもたちが生き生きと自分らしく生きていける社会を創りたい、そのためには政治から世の中を更によくすることは、今の社会に必要なはず…。

そういった思いから、今、古川なおき事務所で秘書をするに至りました。